

健康たかはま21



「健康たかはま21」は、「高浜市健康づくり推進委員」「高浜市の未来を描く市民会議(健康分科会)」などの市民の皆さんにご協力いただき、第2次計画を作成しました。今回は、「①健康な地域社会(まち)」についてご紹介します。

①健康な地域社会(まち)

「健康たかはま21」の目指す姿は、「市民一人ひとりが主役となって自らが取り組む健康づくり」、「市民がお互いに助け合う健康づくり」、そして「地域社会や行政などが応援する環境づくり」であり、この取り組みが健康な地域社会(まち)につながっていきます。

高浜市の現状

ボランティア登録グループ数は88グループ、登録者数も1,737人へと増加しています。介護予防拠点施設の一つである、ものづくり工房「NPOあかおにどん」、IT工房「くりっく」、「全世代楽習館」はNPOが中心となり、市民のための活動が展開されています。高齢者の働き場の場を提供するシルバー人材センター登録者数は428人へと減少しています。育児中の母親の居場所である児童センターには自主グループがあり、子育て情報交換や相談などの活動をしています。

町内会推薦の「健康づくり推進委員」は36人が活躍しており、自身と家族の健康づくりからスタートし、地域を対象とした生活習慣病予防、高齢者の介護予防などの活動へと拡大してきました。現在、市内のすべての小学校区(高浜南部、吉浜、翼、高取、高浜)で5つのまちづくり協議会が新しいコミュニティ組織活動をはじめています。各小学校区の町内会や各種団体、住民が連携して、地域の問題や課題について取り組み、まちづくりを進めています。

1.実現したい目標

★地域での健康づくりの輪をひろげよう

2.今後の取り組みとして

- ①市民自らが取り組むこと(自分にできること)
 - ・積極的に地域や行政の企画に参加しよう。
 - ・ちょっと困ったことができたときにも、ご近所・地域で支えあえるように、日ごろからネットワークづくりを心がけよう。
 - ・仲間と楽しめる趣味を持とう。
- ②地域で取り組むこと(地域でできること)
 - ・健康づくり推進委員が各種企画・イベントの計画とPR活動をしよう。
 - ・仲間との共通の居場所づくりを充実しよう。
 - ・各小学校区の町内会や各種団体、住民が連携して、健康づくりにおいても、幅広い活動を実施しよう。
 - ・ちょっと困ったときに支えあえる仕組みづくりを支援しよう。
 - ・困っている人を支援できる人材の発掘しよう。
- ③行政で取り組むこと(行政にできること)
 - ・各種企画・イベントの計画とPR活動を行います。
 - ・まちづくり協議会の活動を「健康づくり」の側面からバックアップしていきます。
 - ・困った人を見つけたときは、地域で支えあえる仕組みづくりをサポートします。

問合せ先 いきいき広場内保健福祉グループ ☎52-9871

地域で見守る 子育て! 子育て!

乳幼児の事故を防ごう

子どもの発達は大人が思う以上に早く、思いも寄らない場所で事故が起こることがあります。月齢別に起こりやすい事故、予防策を知り、少しでも事故を未然に防げるようにしましょう。子どもの目線で家庭の中を確認してみましょう。

年齢	起きやすい事故	予 防 方 法
1ヶ月 ～6ヶ月	ベッドから落ちる	柵のない高いところへは寝かせない。
	ストーブなどによる火傷	ストーブの近くに近づかせない。
	誤飲(たばこ・化粧品・医薬品など)	テーブルの上、床になど放置しておかない。
	窒息	コイン・豆などを床やテーブルの上などに放置しておかない。 うつ伏せで寝かせるときには顔を下に向けない、あかちゃんから離れない。
7ヶ月～ 12ヶ月	転落・転倒	転倒防止柵を設置する。
	やけど(アイロン・ポットのお湯など)	手の届くところに置かない。
	溺水(お風呂・洗濯機に落ちる)	残し湯をしない。
	車中のけが	チャイルドシートを着用する。
1～4歳	誤飲・中毒	手の届くところに危険な物を置かない。
	転倒・転落	階段・ベランダに踏み台になるものを置かない。
	やけど	熱い鍋などを手の届くところに置かない。テーブルのすみに熱いものを置かない。
	交通事故	飛び出さないように手をつないで歩く。

こどもたちの成長をやさしく見守ってあげてください

問合せ先 いきいき広場内保健福祉グループ ☎52-9871

